



健康一口メモ

仙台市医師会
広報委員
高野 章子

「緑内障」は、目と脳をつなぐ視神経が障害され、視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。緑内障は決して珍しい病気ではありません。日本では、40歳代の約20人に1人が緑内障であることがわかっています。年齢が上がるにつれて割合はもっと多くなります。緑内障がある方の多くは視野障害の自覚がないため、たくさんの方が自分の病気を知らずに暮らしており、健診などで発見されることがほとんどです。

緑内障の種類には、原因がはっきり分らない「原発緑内障」、他の病気に引き続いて起こる「続発緑内障」、隅角の先天的な異常が原因の「小児緑内障」の3つがあります。

一般的に緑内障と呼ばれているのは、原発緑内障のことです。緑内障の90%以上を占めています。原発緑内障は、房水(眼の組織に酸素や栄養を与え、眼の中のいらなくなった物質を運ぶ液体。目の形を保つ働きもしている。)の出口(隅角)が広いタイプの開放隅角緑内障と、隅角が狭い、あるいは閉塞しているタイプの閉塞隅角緑内障の二つに分けられます。

一般に多いのは開放隅角緑内障です。開放隅角緑内障は、慢性緑内障で

40歳代の約20人に1人が緑内障

あることがほとんどで、視野障害の進行なども通常はゆっくりです。

閉塞隅角緑内障の中には、房水の通り道が急にふさがって急激に眼圧が上がることもあり(急性緑内障発作)、治療が遅れると短時間で失明に至ることもありますので、緊急の対応が必要となります。

緑内障は、眼圧を下げることで、進行を遅らせることができますので、治療は、眼圧を下げる点眼薬を中心とする薬物治療が行われます。場合によっては、内服薬を追加することもあります。それでも眼圧が十分に下がらない場合や視野障害が進行する場合はレーザー治療や手術が行われます。

緑内障によつて失われた視力や視野は、薬や手術によつても回復させることはできません。それを防ぐには、早期発見と適切な治療によつて、視野障害の進行をできる限り抑えることが大切です。緑内障の患者さんの多くは眼圧は正常で、視野障害の自覚もありません。緑内障の早期発見・早期治療開始のために、40歳を過ぎたら定期的に目の検診を受けましょう。

「こみざわみなみ眼科クリニック

／太白区富沢南

早期発見 ▶ 早期治療



JR仙台駅から徒歩2分!

「仙台市中小企業活性化センター」を是非ご利用ください

仙台市中小企業活性化センターは、リーズナブルな料金でご利用いただける大規模ホール・セミナールーム、会議室を備えております。アクセスも良く、展示会やイベント、セミナー発表会など様々なビジネスシーンでご活用いただけます。

また、ビジネスに役立つ各種イベントやセミナーも主催しております。どうぞお気軽にご利用ください。



多彩な
イベントに
対応できる
施設

経営課題の
解決を
サポート



	施設	面積	収容人数	使用料(税込)	
				午前(9:00~12:00)	午後(13:00~17:00)
多目的ホール	—	708.5㎡	600名	午後(13:00~17:00)	50,400円
				夜間(18:00~22:00)	50,400円
				午前(9:00~12:00)	37,700円
セミナールーム1	A+B	130.6㎡	60名	一時間当たり	1,960円
	A	65.3㎡	20名		980円
	B	65.3㎡	24名		980円
セミナールーム2	A+B	248.6㎡	144名		3,600円
	A	124.3㎡	60名		1,800円
	B	124.3㎡	72名		1,800円
特別会議室	—	66.3㎡	20名	980円	

〒980-6105 仙台市青葉区中央 1-3-1 アエル 5・6・7 階

☎ 022-724-1200 ホームページ <https://www.siip.city.sendai.jp/sckc/>

